

長崎市版「キャリア教育」について

○長崎市教育大綱

【基本理念】

長崎の未来を創るひとづくり

【ひとづくりの基本姿勢】

つながりと創造で未来の長崎へ

【めざすすがた】

- 1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、挑戦するひと
- 2 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと
- 3 長崎を愛する心を持ち、世界に貢献するひと
- 4 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと
- 5 地域を支え、未来へつなぐひと

○中央教育審議会

今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（平成23年1月31日）

キャリア教育とは…一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

キャリア発達とは…社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

キャリア形成とは…「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力」を養うこと

○新学習指導要領「キャリア教育の定義」（指導上の留意点）

児童・生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて行う教育。

- ・狭義の「進路指導」ではなく、「働くこと」の現実や必要な資質・能力を育成することが重要。
- ・自己の将来や社会づくりにつなげていくことが重要。
- ・将来の生活や社会、職業などとの関連を意識させるため、職場見学や体験、社会人講話の機会が不可欠であり、「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、幅広い地域住民と目標やビジョンを共有し、連携・協働して児童・生徒を育てていくことが求められる。



○これまでの議論のまとめ（方向性）

総合教育会議における長崎市版キャリア教育の考え方（案）

・長崎のまち（社会）を支える「当事者」を育てていくため、学校、家庭、地域が一体となって、児童・生徒に様々な世界を学ぶ機会を提供することにより、児童・生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けるとともに、グローバルな視点を持ち、長崎のまちを愛する気持ちを養う教育。

(参考) 平成 30 年度第 1 回会議での主な委員等発言

○長崎市版キャリア教育の考え方につながる発言

- ・長崎のまちを愛する気持ちを養う
- ・長崎のまち（社会）を支える「当事者」として関わる気持ちを育む
- ・学校、家庭、地域が一体となって取り組む
- ・長崎の外の世界を知る（外部の人たちを知る、長崎にはない職業を知る）
グローバルな人材を育てる
長崎だけで通じるひとではなくてよそに行っても通じるような、世界で活躍する長崎人がいてもいい。
- ・「長崎のまち（社会）を支える「当事者」を育てていく」ことが目的（ゴール）。
地域の課題を見つけたり、考えたりしながら、それをほっとけない、自分がそれをなんとかしなきゃっていうところまでもっていく
- ・「シンクグローバリー アクトローカリー」頭の中は少し外を向けておきなさい。でも動くのはそこで動くんですよ
⇒「地球規模で考え、足元から行動せよ」
- ・地域と密着して、地域の状況を知りながら、社会の状況を知りながら自分がいまやっている勉強がどこに生きるのか、わかりながらすることが学力が上がる
- ・地域との連携の部分も定義の中に入れて整理する。
- ・「君ならどうする運動」「私ならどうするだろう運動」⇒ 当事者をつくるキーワード

○今後の展開につながる発言

- ・長崎の場合は位置付けてやる。だからこそ当事者が育つんだともっとはっきり明示したい感じがする。
- ・今やっていることについて、これはどこを向いているのかという位置付けをする。
- ・意味を持たせる。やってることの意味をはっきりさせる。

長崎市版キャリア教育のイメージ図

長崎のまちを愛する気持ちを養い、まちを支える〈当事者〉を育てる

具体的取組事例

平和学習発表会開催事業

長崎学調査研究

小学校社会科副読本
「くらしとリサイクル」製作・配付

学校における模擬選挙

放課後子ども教室推進事業

消費生活出前講座の実施

子ども農山漁村交流体験

地場企業知名度アップ
促進事業

こども演劇体験教室

子どもゆめ体験事業

ラグビーワールドカップ
キャンペーン誘致の取組

まちを知る

しくみを知る

人を知る

生活する力をつける
(社会的自立)

職業の力をつける
(職業的自立)

力を合わせる
体験をする

外の世界を知る

誇り

まち(社会)への
関心

あこがれ

リスペクト

達成感
楽しさ

協働

学校

家庭

地域

教育大綱の基本理念

長崎の未来を創るひとづくり

長崎市よかまちづくり基本条例

長崎市版キャリア教育に関する取組み【市長部局】

		事業名	目的・効果	担当課
1	まちを知る	平和学習発表会開催事業	市内の中学生が一堂に会し、日ごろ取り組んでいる平和学習の成果を発表するとともに、本市が取り組んでいる平和活動の状況も発表することなど、平和学習を通して生徒が被爆地長崎のまちを知ることにつながる。	被爆継承課
		長崎学調査研究	小学生を対象にした長崎学児童研究コンクールを実施することで、児童が長崎のまちの歴史を知ることにつながる。	長崎学研究所
2	しくみを知る	小学校社会科副読本「くらしとリサイクル」の製作・配付（資源ごみ処理費）	授業でごみ処理に関する学習を行っている市内小学校の3年生、4年生に対し、環境教育の補助教材「くらしとリサイクル」を製作・配布することで、児童がくらしとリサイクルのしくみを知ることにつながる。	廃棄物対策課
		学校における模擬選挙	将来有権者となる中学生を対象に模擬選挙を実施することで、生徒が社会の一員であるという自覚を持ち、政治・選挙の意義や仕組みを知ることにつながる。	選挙管理委員会
3	人を知る	放課後子ども教室推進事業	小学校区において、放課後又は週末等に小学校等を使用し、地域と学校が連携・協力して、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、児童が地域や地域住民を知ることにつながる。	こどもみらい課
4	生活する力をつける (社会的自立)	消費生活出前講座の実施	小中学生に対し、消費者契約や消費者トラブルの事例と対策、また、自分たちの消費行動が社会に与える影響などについての出前講座を実施することにより、児童・生徒が正しい消費行動を身に付けることができる。	消費者センター
		長崎市子ども農山漁村交流体験 (グリーンツーリズム推進費)	小中学生が農山漁村の文化や豊かな自然に親しみ、グリーンツーリズムの体験(農産加工体験、田植え体験など)を通して地域の人と触れあい豊かな人間性を育むとともに、生活する力をつけることにつながる。	農林振興課
5	職業の力をつける (職業的自立)	地場企業知名度アップ促進事業	地元企業の業務内容をはじめ、その企業が培ってきた技術や製品、更には独自の取り組みや社風を紹介する番組(長崎キラリ☆カンパニー)を制作し、毎月1回放送を行っているほか、動画投稿サイトへの投稿や各教育機関へDVDの配布を行う。 市立中学校に対しては年度ごとに12社の映像を記録したDVDを配布し、長崎の企業を知り機会につなげる。	産業雇用政策課

長崎市版キャリア教育に関する取組み【市長部局】

		事業名	目的・効果	担当課
6	力を合わせる 体験をする	こども演劇体験教室	子どもたち自身で、演技だけでなく、衣裳や小道具作りから稽古までを行い、最後には保護者などを招き発表会を行う演劇体験教室を開催することを通して、児童・生徒一人ひとりが役割分担しながら作品を作り上げることで、力を合わせる体験をすることができる。	文化振興課
7	外の世界を 知る	子どもゆめ体験事業	次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市等に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じることで、国際性を有する人材の育成を図る。	国際課
		ラグビーワールドカップキャンプ 誘致の取組み	スコットランドラグビー協会のコーチ・選手による「こどもラグビー教室」の開催・学校訪問や、県中学ラグビー選抜チームをスコットランドに派遣（長崎市内から15人を派遣）することなどにより、児童・生徒が外の世界を知ることにつながる。	スポーツ振興課

長崎市版キャリア教育のイメージ図

長崎のまちを愛する気持ちを養い、まちを支える〈当事者〉を育てる

具体的取組事例

長崎の宝発見・発信学習
推進事業

宿泊体験推進事業

弁護士による法教育

模擬選挙

キャリア教育講師の派遣

いわき市、国立市との
平和学習交流

中学生議会

弁護士による法教育

キャリア教育講師の派遣

宿泊体験推進事業

宿泊体験推進事業

市立学校間ふれあい交流

平和教育指導

国際理解教育推進

まちを知る

しくみを知る

人を知る

生活する力をつける
(社会的自立)

職業の力をつける
(職業的自立)

力を合わせる
体験をする

外の世界を知る

誇り

まち(社会)への
関心

あこがれ

リスペクト

達成感
楽しさ

協働

学校

家庭

地域

教育大綱の基本理念

長崎の未来を創るひとづくり

長崎市よかまちづくり基本条例

長崎市版キャリア教育に関する取組み【教育委員会】

		事業名	目的・効果	担当課
1	まちを知る	長崎の宝発見・発信学習推進事業	長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、そのよさを実感し、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できる児童生徒の育成を目的とする。	学校教育課
		宿泊体験推進事業 [再掲:5. 職業の力をつける] [再掲:6. 力を合わせる体験をする]	小学5年生の全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課
2	しくみを知る	弁護士による法教育 (キャリア教育推進事業) [再掲:4. 生活する力をつける]	小・中学校において弁護士による「法教育」を実施することによって、法を正しく理解し社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする心を育てる。	学校教育課
		模擬選挙	各学校で実施する生徒会役員選挙などで本物の投票箱を使い投票を行うことによって、選挙のしくみを知り、今後の主権者教育につなげる機会とする。	学校教育課
3	人を知る	キャリア教育講師の派遣 (キャリア教育推進事業) [再掲:5. 職業の力をつける]	地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を小中学校に派遣し、職業講話などの交流を行うことを通して、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする態度を育成する。	学校教育課
		いわき市、国立市との平和学習交流	福島県いわき市の中学生、東京都国立市の小学生と長崎市の小・中学生が平和学習の成果を交流することによって、平和追求の思いや考え方について相互理解を深めるとともに、日ごろ各学校のリーダーとして活躍する中での喜びや悩みについて意見交換を行い、リーダー性の向上を図る。	学校教育課
4	生活する力をつける (社会的自立)	中学生議会	市立中学校生徒会のリーダーが市議会会議場にてテーマに基づき意見交換を行う場を設けることで、自主性、リーダー性、企画力、創造力等の向上と、各学校の生活会活動の活性化を図る。	学校教育課
		弁護士による法教育 (キャリア教育推進事業) [再掲:2. しくみを知る]	小・中学校において弁護士による「法教育」を実施することによって、法を正しく理解し社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする心を育てる。	学校教育課
5	職業の力をつける (職業的自立)	キャリア教育講師の派遣 (キャリア教育推進事業) [再掲:3. 人を知る]	地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を小中学校に派遣し、職業講話などの交流を行うことを通して、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現しようとする心を育てる。	学校教育課
		宿泊体験推進事業 [再掲:1. まちを知る] [再掲:6. 力を合わせる体験をする]	市内の児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により開発した長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課

長崎市版キャリア教育に関する取組み【教育委員会】

	事業名	目的・効果	担当課
6	力を合わせる 体験をする 宿泊体験推進事業 [再掲:1. まちを知る] [再掲:5. 職業の力をつける]	小学年5年生全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での2泊3日の宿泊体験を行うことで、仲間と協働することの喜びが実感できる機会をもつ。	学校教育課
	市立学校間ふれあい交流	極小規模校の児童生徒と中規模・大規模校児童生徒のふれあい交流により、集団規模による個々の役割の違い、児童・生徒活動の運営方法の違い、規模によらない共通点などを捉え、児童生徒の人間関係力、コミュニケーション能力の向上を図る。	学校教育課
7	外の世界を 知る 平和教育指導	対話を含んだ被爆体験講話、対話型授業の実践、また、長崎原爆被爆のみならず、広島原爆被爆、核兵器開発、世界の平和についての情報を掲載したテキストを使った事前、事後の学習を通して、多面的・多角的に平和を見つめさせ、国際協調の精神を育てる。	学校教育課
	国際理解教育推進	小学校にALT派遣し英語での基本的なあいさつ等を学ぶハローイングリッシュ活動、小・中学生とALTが長崎の歴史について英語で語り合い郷土愛を育む国際交流イベント、外国からの観光客に中学生が道案内を行い、おもてなしの心を育む英語寺子屋教室などによって国際社会を生き抜く人材の育成を図る。	学校教育課

地域コミュニティのしくみづくりのモデル事業におけるモデル地区の事業計画書
(子ども関連事業のみ抜粋)

ア 式見地区

事業名 (分野)	事業の概要
親子3代思い出づくり事業 (青少年育成・地域活動・交流)	子どもの将来の幸せを願って、成長の節目である小中学校の入学式や卒業式等に子どもの祖父母に式典の案内状を郵送し、地域で式典に参加するもの。 ・実施期間 H30.4.1～H31.3.31 ・実施場所 式見小学校・式見中学校 ・参加者数 35名を想定

イ 南長崎地区

事業名 (分野)	事業の概要
防犯パレード (防犯)	安全で安心して住めるまちづくりのために、この町から犯罪を出さない、遭わないための住民の防犯意識を高める啓発パレードを実施するもの。 ・実施時期 H30.10 ・参加者数 400名想定 ・実施場所 団地内大通り
ふれあいウォーキング (交流)	まちづくりの基本である住民の交流を深め、広げるためにウォーキングを実施し、ゴール後は「ぜんざい」を食しながら交流タイムを楽しむもの。 ・実施時期 H30.11 ・参加者数 200名想定 ・実施場所 団地周辺

ウ 土井首地区

事業名 (分野)	事業の概要
どいのくび祭 (きずな)	土井首地区の小中学生から公園を利用したイベントにかかるアイデアを出してもらい、それを具現化していく中で、地域住民の交流が促進され、また次世代のリーダー育成に貢献することが期待できる。またイベントを盛況にし、楽しむためにフリーマーケット出店や露店等を設置する。 ・実施日時 平成30年10月21日(日) ・実施場所 えがわ運動公園 ・参加者数 2,000人程度を想定
どいのくび健康マラソン大会 (きずな)	健康増進・交通安全・明るいコミュニティづくりを目的に実施するもの。 ・実施日時 平成30年12月2日(日) ・実施場所 鶴見台第一公園及び周辺地域 ・参加者数 選手700人、スタッフ200人程度を想定

<p>自然環境調査及び 自然環境マップの作成 (自然環境・産業)</p>	<p>自然を守り、育て、自然を活かしたまちづくりを行うため、土井首地区全体の自然環境を知り、土井首地区自然マップを作成するもの。 ・実施期間 平成 30 年 5 月～平成 31 年 3 月 ・実施場所 土井首地区全域及び鹿尾川、江川川、大川 ・参加者数 20 人程度を想定</p>
<p>ソフトバレー大会 (子ども・後継者の育成)</p>	<p>各自治会間の交流、地域住民間の交流、及び次世代のリーダー育成に貢献することを目的に実施するもの。 ・実施日時 平成 31 年 2 月 10 日(日) ・実施場所 土井首中学校体育館 ・参加者数 100 人程度を想定</p>
<p>ドッチビー大会 (子ども・後継者の育成)</p>	<p>大人も子どもも楽しめるスポーツを通しての地域住民の交流、及び次世代のリーダー育成に貢献することを目的に実施するもの。 ・実施期間 平成 31 年 2 月 ・実施場所 土井首中学校体育館 ・参加者数 50 人～100 人程度を想定</p>
<p>親子で話そう映写会 (子ども・後継者の育成)</p>	<p>親子で楽しめる映画等を見ることにより、親子間で話題を共有し親子のコミュニケーションが促進されることが期待できる。また、子どもたちが楽しめる交流の場を提供し、次世代のリーダー育成に貢献することを目的に実施するもの。 ・実施期間 平成 31 年 1 月 2 回上映 ・実施場所 土井首地区ふれあいセンター ・参加者数 100 人程度を想定</p>
<p>子ども会議 (子ども・後継者の育成)</p>	<p>子どもたちが自由に意見を言える場の提供と、大人にはない考えを導きだし、地域住民としての意識を高め、次世代のリーダー育成に貢献することを目的に実施するもの。 また、会議の中で、どいのくび祭にかかるアイデアや、今後の事業展開のために各部会が実施する事業に対する意見もいただく。 ・実施期間 各学期に 1 回 ・実施場所 南部市民センター ・参加者数 50 人程度を想定</p>
<p>親子で学ぶ講演会 (子ども・後継者の育成)</p>	<p>大人も子どもも共通して関心が高い内容(例えばスマートフォン使用に関する問題、SNS に関する教育など)を学べる場を提供する。講演内容について考えることにより、地域住民の交流が促進され、また次世代のリーダー育成に貢献することが期待できる。 ・実施期間 平成 30 年 9 月～平成 31 年 2 月 ・実施場所 南部市民センター ・参加者数 100 人～150 人程度を想定</p>
<p>三校合同門松づくり (子ども・後継者の育成)</p>	<p>土井首地区の小中学校に通う子どもたちとその保護者及び教職員の交流と、次世代のリーダー育成に貢献することを目的に実施するもの。 ・実施日時 平成 30 年 12 月 24 日(月) ・実施場所 土井首中学校 ・参加者数 100 人程度を想定</p>

エ 深堀地区

事業名 (分野)	事業の概要
門松カード作製 (児童対策)	<p>新しい年を迎える伝統行事である門松カードを、地元中学校の生徒が考えたデザインで作成し、各自治会等を通して全世帯に配布を行い、地域によるふるさと意識を育てていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 12月中旬 ・実施場所 深堀地区全域 ・参加者数 3,200世帯
夏休み深堀サマースクール (児童対策)	<p>地域の子どもたちを対象に、夏休み期間中地元大学生と夏休みの課題を取り組んだり、日帰りキャンプ等を通しての交流を図り、いろいろな人たちとのコミュニケーション能力を育成していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 7月下旬～8月上旬 ・実施場所 深堀地区ふれあいセンター及び深堀ふれあい広場 ・参加者数 30人
深堀ふれあい広場イルミネーション (まちづくり)	<p>地域の小中学校、幼稚園及び保育所等の子供たちがデザインをしたイルミネーションを深堀ふれあい広場に装飾し、地域内に賑わいの場を創設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 12月中旬～下旬 ・実施場所 深堀ふれあい広場 ・参加者数 全世帯
深堀地区成人式 (地域の異世代が繋がる)	<p>地域の中学校を卒業した新成人の門出を地域内の各種団体でお祝いし、ふるさとの暖かさと郷土愛を育み、自分の故郷は深堀なんだと認識してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 1月上旬 ・実施場所 深堀地区ふれあいセンター及び深堀婦人会館 ・参加者数 100人
深堀地区敬老祝賀会 (地域の異世代が繋がる)	<p>これまで暮らしてきたふるさとをここまで発展させてくれたことに感謝し、これからも永く元気に、この地区で暮らしていただくために、長寿と健康を地域をあげてお祝いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 9月中旬 ・実施場所 深堀体育館 ・参加者数 250人
深堀地区ふれあいまつり(仮称) (まちづくり)	<p>これまで深堀地区全体を対象としたまつりを開催していないことから、深堀地区全体と地区内に住んでいる各世代を対象とするイベントを開催し、地域及び各種団体の連携を強化し、ふるさとを大切にしようという心を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 11月実施予定 ・実施場所 深堀体育館、公園、深堀ふれあい広場及び深堀地区ふれあいセンター ・参加者数 800人

オ 茂木地区

事業名 (分野)	事業の概要
夏祭り事業 (地域活動・地域振興・交流・企画)	<p>まちづくり計画書、地域活動の第1項目に書かれてある「人が集まるイベント、まつりを計画する」という内容をふまえ、地域住民と各企業、団体、地域外の多くの方々を茂木地域へ呼び込むため、「夏まつり」を開催し、地域の活性化を図る。また、イベントきっかけにフェリー駐車場周辺の再開発の検討材料にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 盆踊りで地域内外の交流を促進し、茂木の特産物などをブースで販売とPR活動、新加工品のお披露目、部会の活動告を行う。 ・実施時期 平成30年8月中旬(1日) ・実施場所 茂木港フェリー駐車場 ・参加者数 700人
「弁当の日」事業 (子育て・青少年育成)	<p>子どもの声であふれる茂木の町をめざし、家庭での食育を推進するため、保護者と子どもと一緒に弁当づくりをすることにより、食材・家族に感謝の心を知り自己肯定感が育まれ、生きる力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 「弁当の日」の趣旨を地域商店等に協力を得て、弁当の日の数日前に店舗前にのぼり旗を立て周知を図り、親子共同弁当づくりの実現を促すための環境づくりを推進する。 ・実施期間 平成30年9月1日から平成31年3月31日 (次年度も実施予定) <p>※社会科見学、遠足など弁当持参に合わせて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 茂木地区の食料品店ほか各家庭 ・参加人数 茂木小学校・中学校の生徒・保護者 200人 <p>※「弁当の日」…「買物」から「かたづけ」まで子ども達が一人で又は保護者と一緒に行くなど段階に応じて自分の弁当を作る。親も先生も批評も評価もしない。</p>
「ふれあい動物園」事業 (子育て・青少年育成)	<p>優しい心を持った子どもの育成とともに、地域内外の子どもから高齢者までの交流を図るため、「ふれあい動物園」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 長崎バイオパーク及びペンギン水族館から移動動物園に来てもらい、動物とのふれあいをとおし、子どもたちに命の暖かさや大切さを感じることができる体験をさせる。また、地域の子どもから高齢者までの幅広い年代層が集い、この体験をとおして交流する。 ・実施期間 平成31年2月頃(1日) ・参加対象 茂木地区を中心に、広く子どもから高齢者に参加を呼びかけることとする。 ・実施場所 茂木港ターミナル駐車場(展示)、茂木地域センター(トイレ) ・参加者数 500人

<p>【交付対象外事業】 茂木ペーロン大会開催事業 (共催:ペーロン保存会)</p>	<p>茂木地区のペーロン文化の継承と地域内外の交流を図るため、平成30年度茂木地区ペーロン大会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 地区チーム(中学生、PTA、企業等)の対抗戦、子ども達(小学生以下)の体験ペーロン等 ・実施期間 平成30年7月第1日曜日 ・実施場所 茂木水辺のきずな公園周辺 ・参加者数 400人
--	--

カ 横尾地区

事業名 (分野)	事業の概要
<p>多世代で楽しくプロジェクト (子ども育成)</p>	<p>子どもたちに地域の歴史文化を継承し、まちへの愛着を持ってもらうために、まちを巡るウォークラリーや昔あそび、田植え、収穫の体験など、子どもから高齢者まで参加できるイベントを開催する。そのイベントで使用するゲームの機材などを購入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 6月(ウォークラリー、田植え)、10月(稲刈り)、11月(脱穀) ・事業場所 横尾小学校区内 ・ウォークラリー(200名)、田植えほか(小学4年生の約60名)
<p>健康で長く元気にプロジェクト (健康福祉)</p>	<p>現在開催している高齢者サロンなど各種イベントへの参加を促すため、小中学生の参加を得るとともに、地区内のイベント一覧表を作成し、周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 通年 ・実施場所 横尾地区ふれあいセンター内 ・多世代サロン 600名(50名×12回)
<p>学びの道等花いっぱいプロジェクト (環境・歴史文化)</p>	<p>美しいまちにすることで、住民や子どもたちにまちに誇りと愛着を持ってもらうために、横尾中学校の学びの道を、中学生が地域のボランティアの方々と一緒になって、年間を通して花いっぱいの花壇として整備する。また、小・中学校にある元気野菜づくりを継続し、子どもたちに食育について学ぶ機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 年間を通して4回程度 ・実施場所 横尾中学校の学びの道、横尾小学校、横尾中学校内 ・学びの道整備 120名(30名×4回)